

令和7年度 あいりん日雇労働者等自立支援事業業務委託に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称

令和7年度 あいりん日雇労働者等自立支援事業業務委託
契約期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

2 選定した委託予定事業者

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構

3 公募期間

令和6年12月20日から令和7年1月23日

4 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（五十音順、敬称略）

委員氏名	役職等
鵜浦 直子	大阪公立大学生活科学研究院 大学院生活科学研究科 生活科学専攻
中山 徹	大阪府立大学名誉教授、大阪公立大学都市科学・防災研究センター特別研究員
松井 環	公益財団法人 西成労働福祉センター事務局次長

(2) 選定会議の開催日

令和7年2月14日

(3) 審査基準

審査項目	主な審査内容	配点
事業計画 の内容	本市が示す募集要項、仕様書にある本事業の趣旨、目的が十分に意識されているか。	15
	団体の専門性や特性、実績、経験からの強みを生かした提案内容となっているか。	5
	独自性がある提案内容となっているか。	5
	的確な現状分析に基づき、利用者の自立支援のニーズ（就労、医療、生活保護等）を把握しているか。	5
	利用者の自立支援のニーズ（就労、医療、生活保護等）に基づき課題を設定しているか。	5
	到達目標は、課題設定に基づき明確に、具体的に設定されているか。	5
	到達目標の実現に向けて、段階的に具体的なプロセスが描けているか。	10
実行力	過去に類似した事業を実施してきた実績があるか。	10
	事業を円滑に遂行するための組織体制（団体の長の配置、各部門の長の設定、他の関係機関との連携等）、運営基盤（財政基盤の安定性）があるか。	20
	事業を円滑に遂行するための関係機関（実施機関、他の支援機関、企業等）とのネットワークを有している、あるいは構築できるか。	10
	効率的・効果的な方法、年間の計画で立案されているか。	5
	効率的で実行可能な予算（人件費、物件費）で立案されているか。	5
合 計		100

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構 全1者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）

審査項目	審査内容	配点（満点）	評価点
事業計画の内容	事業主旨、事業目的	15（45）	40.2
	専門性、特性	5（15）	13.6
	独自性	5（15）	13.3
	ニーズ把握	5（15）	12.5
	課題設定	5（15）	12.7
	到達目標	5（15）	12.5
	目標実現のプロセス	10（30）	24.4
実行力	類似事業実績	10（30）	30.0
	組織体制、運営基盤	20（60）	48.0
	関係機関とのネットワーク	10（30）	26.0
	計画立案	5（15）	12.9
	予算立案	5（15）	12.0
合計		100（300）	258.1